

院内トリアージ実施について

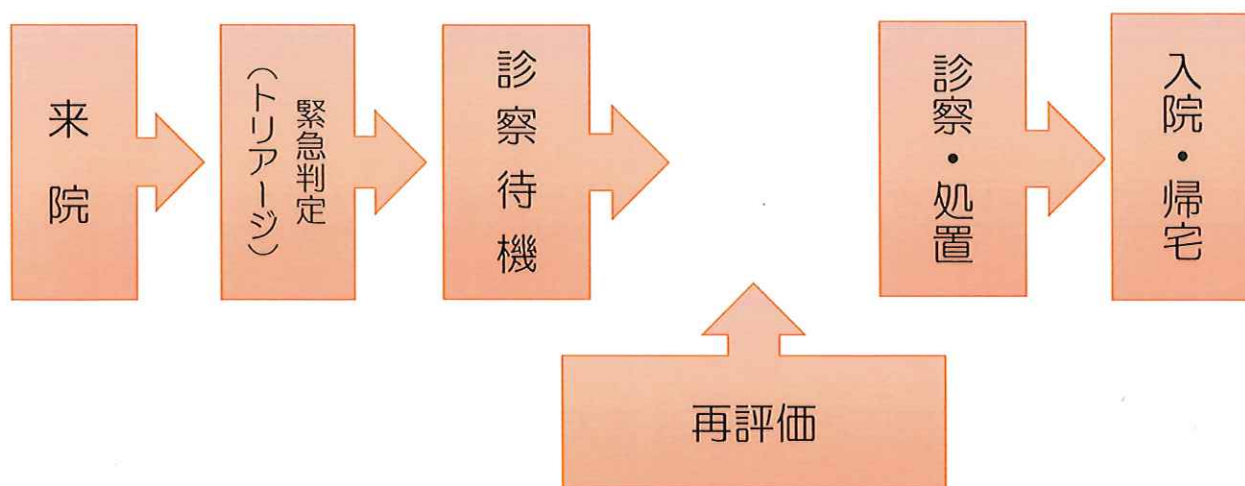
当院では、時間外（夜間・休日または深夜）に受診された患者様に対して、院内トリアージを実施しております。すなわち、患者様の来院後速やかに、看護師または医師が緊急度を判定し、これが高い場合は、優先的に診察を受けていただける体制をとっております。つまり、重症の方は、すでにお待ちの患者様より先に、診察を受けることができます。

このように、時間外には、受付した順番に診察を受けていただけるとは限りません。緊急度が低い場合は、早く受付をされていても、待ち時間が長くなることがあります。ただし、このトリアージは一定の時間後に再度行いますので、待ち時間中に状態が変化すれば、優先されることがあります。

当院では、時間外の初診患者様に対して、この取り組みへの評価として厚生労働省が定めた「院内トリアージ実施体制加算」を算定しております。

この料金は、優先的に診察を受けていただける患者様だけではなく、結果的に、その重症な方に順番を譲る形になり、待ち時間が長くなってしまった方にも適応されますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

〈夜間・休日または深夜における受診の流れ〉



院内トリアージ実施体制加算：50点

（例）3割負担の方は、（50点×10円）×3割負担＝150円

院内トリアージの緊急度判定基準（JTAS 緊急判断レベル）

蘇生	直ちに診察・治療が必要	心停止 重症外傷 けいれん持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛・腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 けいれん後の状態（意識は回復） 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛・腹痛 など	30分毎の再評価
低緊急	1時間以内に診察が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷（止血済み） 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急	2時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価

JTAS の緊急度判定は青・赤・黄・緑・白の5段階に分類されている

青はもっとも緊急度が高く、直ちに診察および治療が必要と判定される

赤は緊急で10分以内に診察が必要なレベルとされ、15分ごとに再評価を行う

黄は準緊急で、30分以内に診察が必要なレベルで、再評価は30分ごとに行う

緑は低緊急で1時間以内に診察が必要なレベルで、再評価は1時間ごとに行う

白は非緊急で、2時間以内の診察とされている。再評価は2時間ごとに行う